

多摩地域の市民活動交流会 報告

## つながりをひろげよう

～つながり方をみんなで考えよう～

日時:2018年7月9日 10:15～13:00

会場:東京都多摩消費生活センター

参加者:39名

主催:多摩地域の消費者団体交流会実行委員会

消費者団体と東京都との協同による学習会

東京都消費者月間協賛事業

今回の交流会は、前半は3つの団体からどんなところとつながって活動しているか周りの人を巻き込む工夫などの報告を聞き、後半は消費者団体としてつながりのつくり方やひろげ方を考え発表しました。グループ発表では「関係づくりのための場を設ける」「自ら出て行って行動する」などのアイデアが出されました。終わりに報告者の拝師さんから、今までの枠を超えたつながりを求めてみる、失敗を恐れずにチャレンジしていくことが大事とのアドバイスをいただきました。



司会:村橋 悠さん  
多摩パブリック法律事務所



東京都消費生活総合  
センター活動推進課長  
佐々木 勝広さん

**開会挨拶:** 東京都の「消費生活基本計画」の中にエシカル消費の推進が掲げられており、消費者団体だけでなくさまざまな分野の市民団体とも連携を強めていきます。本日の交流会の多様な分野からの報告とワークショップで、これからの皆さんの活動の広がりを期待します。

### プログラム

#### ☆リレー報告

- ・多摩子ども食堂ネットワーク
- ・消費者行政充実ネットちば
- ・NPO こだいらソーラー

#### ☆ワークショップと発表

### テーマ:つながりのつくり方、ひろげ方

#### 多摩子ども食堂ネットワーク 報告者:伊藤 由子さん



キッチンカーを使ったアウトリーチ型の子どもの食堂をやりたいという思いがあり、児童福祉や子どもの居場所づくりに関心のある学生や若手社会人とネットワークを立ち上げました。活動は「多摩地域の子どもの食堂交流会の実施」や、「キッチンカーを使った子ども食堂フェスタの開催」「多摩地域の子どもの食堂へ定期的に参加し繋がりを広げること」です。学生や若手社会人がそれぞれ主体となって企画をふくらませています。活動スタッフの繋がりも広がりを見せています。2016年2017年に開催をした子ども食堂フェスタの開催費用はクラウドファンディングで集めることができました。

#### 消費者行政充実ネットちば 報告者:拝師 徳彦さん



2008年に設立した千葉県内の消費者団体等17団体で構成されるネットワークグループで、消費者行政の充実・強化等を目的に活動しています。消費者被害防止を目的に、地元の町内会や社会福祉協議会、消費者団体などで実行委員会を立ち上げ「市町村シンポジウム」を開催、リコール制度の周知とリコール製品の回収率アップを図る「リコールキャンペーンとアンケート」の実施、「訪問販売お断りステッカー配布運動とアンケート」の実施に取り組んでいます。シンポジウムを開催した市町村でリコールキャンペーンに協力してもらうなど、どの取り組みも行政との連携は不可欠です。

#### NPO こだいらソーラー 報告者:都甲 公子さん



2011年3月の東日本大震災での福島第一原子力発電所事故をきっかけに、原発に依存しないクリーンなエネルギーで暮らしたいという思いからNPO法人を設立しました。できるだけ多くの太陽光発電所を設置するために、市民から設置資金を集め民間の屋根を借りて、現在5基の「こだいらソーラー市民発電所」が稼働中です。小平市とのいきいき協働事業で市民啓発に取り組み、再生可能エネルギーへのシフトを訴える“パワーシフトキャンペーン”に加わって、消費者からのパワーシフト宣言を呼び掛けています。

多摩消費生活センターでは食育講座などの消費者教育事業に取り組んでいます。当センターが消費者団体の活動の広がりの場のひとつになればと思っております。



東京都多摩消費生活センター  
所長 宮本智次郎さん



TOKYO 消費者行政充  
実ねっと 釜井 英法さん

**閉会挨拶:** 今日の交流会はみんなで行き先を考え前向きな気持ちになりました。来年の交流会も、自分たちが1年間活動した結果を話し合う場、違った分野で活動する人と交流ができる場になれるとよいと思います。